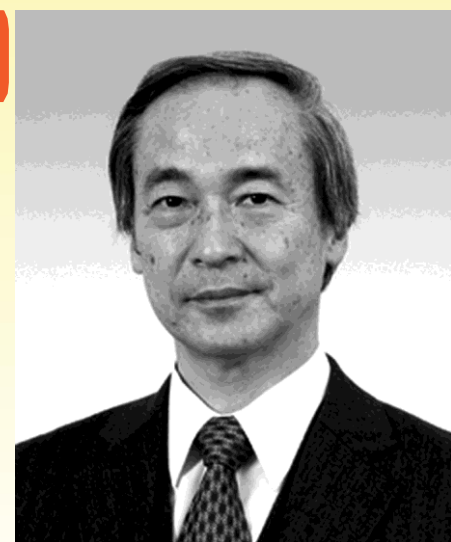


市民参加する協働事業の提言をまとめ、社会的にアピールする

2015首都圏市民フォーラム
2015首都圏市民フォーラム
2015首都圏市民フォーラム
2015首都圏市民フォーラム
2015首都圏市民フォーラム

基調プレゼン

辻 哲夫
東京大学特任教授



開催月日: 2月24日(火)【10:00 ~ 16:00】

開催場所: 銀座ブロッサム(中央会館)

集会室(マーガレット)

東京都中央区銀座2-15-6

(中央区役所の隣) TEL03-3542-8585

最寄り駅: 有楽町線・新富町駅1番出口

日比谷線・都営浅草線東銀座駅5番出口

Presenter

東大高齢社会総合研究機構(木村清一)
戸田市環境クリーン室(吉田義枝専門員)
横浜市(斉藤紀子放課後児童育成課長)
中央区(遠藤龍雄防災課長)

主催: NPO 法人ニッポン・アクティブライフ・クラブ 共催: 市民キャビネット、(一財) 高度映像情報センター

挨拶: 東京都中央区・矢田区長

後援: 日本労働組合総連合会・東京都連合会, 全国シルバー人材センター事業協会, 東京商工会議所中央支部

2015首都圏市民フォーラム

【このフォーラムの趣旨】は、2015年（平成27年）、統一地方選挙を前に超高齢社会へ急進展(2015～2025)する首都圏地域、2020東京オリンピック開催等を視野において、市民参加する事業提言をまとめ、社会的にアピールする。

これから、政府・自治体を担う方々に市民と自治体との協働による・地域システムの改革と事業開発、雇用開発等の実践・実現を求め、政党並びに経済・労働団体等にも積極的役割を果たすことを要請する。

また自然災害等にも即応するトータルの安全・安心ネットワークづくりを果たすために、多様な課題を在住者・在勤者市民が連携する地域プラットフォームづくりに取り組み、このフォーラムを各地で開催し地域回帰した団塊世代等に生きがい 就労やボランティアなど社会参加を呼びかける。

総合司会：ナルク柴田守

【準備・事務局】 東京スタッフ会議（1/19:企画案確定）

ナルク副会長 東京事務所担当 河口博行

〒105-0004 東京都港区新橋6-15-8 空調ビル3階

メール：tokyo@nalc.jp

TEL 03-6435-6352 FAX 03-6435-6353

フォーラム・プログラム

【10:00～10:45】

- ・主催者挨拶 高畑敬一 NPO 法人ナルク会長 市民キャビネット代表
- ・開催地首長挨拶 矢田美英 東京都中央区区長
- ・政府挨拶

【10:45～12:15】フォーラムの基調講演

「超高齢社会の到来と地域包括ケアの展望」

辻 哲夫 東京大学特任教授、正力財団理事長、元厚生労働省事務次官

【13:00～16:00】

シンポジウム 市民と自治体の新しい協働事業

【プレゼン・テーマ】 行政と市民が連携した4つの協働モデルをプレゼン

- ・挨拶（プレゼン）全国シルバー人材センター事業協会 金内善健専務理事（地域プラットフォームの形成に向けて）
- ・プレゼン1（柏モデル）木村清一 東大高齢社会総合研究機構 柏市における長寿社会のまちづくり-豊四季台団地プロジェクト 在宅医療の普及・生きがい就労と要支援者の生活支援へ事業移行等
- ・プレゼン2（横浜モデル）横浜市 斉藤紀子 放課後児童育成課長 横浜市の放課後キッズ、はまっこスクール、放課後児童クラブなど子育て世論が保育所づくりと小1の壁問題の解決を促す。いま、世代間の助け合いへ
- ・プレゼン3（戸田モデル）戸田市環境クリーン室：吉田義枝専門員 生ゴミの分別回収⇒焼却場隣接地で堆肥づくり+花の育苗ファーム 市役所屋上などでEMフェルトガーデンと太陽光発電で省エネ効果 環境事業と障害者・高齢者の福祉事業が融合し新しい就業先ができる。
- ・プレゼン4（中央モデル）中央区（遠藤龍雄防災課長） 3・11発生時に帰宅困難者が大都市圏問題であることを改めて提起した。予想される首都直下大地震などに即応できる住民・事業者・在勤市民などの協働による都心地域の防災システムが求められている。

参加申込書

お名前・電話・メール	所属団体・役職

メール(tokyo@nalc.jp)または、FAX (03-6435-6353)でお申込みください。